

学習内容と到達目標

☞ 自分が生まれた町、今住んでいる町の問題点を解決するためにはどうすればいいかを考える

指導のポイント

1. INTRODUCTION 第4課の復習。7枚のイラストは全て前のステップ（第4課）の本田さんの話を元に行っているため、4課で学習した「～てしまった」や「～ことができない」、「～なければならない」などの表現をうまく使えなかった時は、（ストーリーを思い出すことも含めて）復習を入念に行った上でこの課の学習に入る。

2. SPEAKING [1.INTRO] のイラストに表現された本田さんの故郷の問題を解決するためにはどうすればいいか、学生に考えを言わせる。とはいえ、すぐにいい考えが思いつくわけではないので、事前にうちで考えさせておいた方がよい。

3. LISTENING ①では話の内容に注意を向けさせ、②でスクリプトをじっくり読ませ、内容を確認する。この会話には特に「フレーム」と呼べるようなものはないが、友人の「どうすれば…」という問いかけに対し、本田さんが「～ばいい」と明確に答えている箇所や、「～ば、～」を繰り返すことで1つの政策が生み出す好循環について述べている箇所（以下の例）に注意を向けさせる。

例. 「農業が発展し、観光客が増えれば、仕事も増える。仕事が増えれば、人口が増え、町の予算も増える。町の予算が増えれば、病院や学校、バスを整備することができる。そうすれば、…」

また内容面では、友人Aの「大きな工場を作ればいい」という意見に対し、本田さんが言った「小さな町には小さな町なりの幸せがある」という台詞は、第4課で本田さん自身が祖父に言われた言葉であることに気づかせる。

4. FOCUS 「～ために」と同じ目的を表す表現として「～ように」があるが、前者は「スル動詞」に付き、後者は「ナル動詞」や可能形、否定形に付くというのが学習者向けのシンプルな説明。ただ、以下の例のように「スル動詞」に「～ように」、「ナル動詞」に「～ために」が付くこともあり、自分の意志で制御可能なことに対して「～ために」が、自分の意志では制御できないことに対して「～ように」が使われるというのがより正確な説明。

例. 子供がよく勉強するように、学習機を買い与えた。
（子供に勉強してほしいと願っているが、実際にするかどうかは子供次第）
将来弁護士になるために、今一生懸命法律を勉強している。
（「絶対に弁護士になる！」という強い意志の表れ）

5. SPEAKING

[4.FOCUS] で学習した表現を使って以下の4人の相談に答える練習。

- ①学生の興味・関心を引く授業ができない大学教員（痛っ！）
- ②両親が夫婦喧嘩ばかりしている子供
- ③自分が企画したツアーへの申し込みがほとんどなく困っている旅行社の社員
- ④お客がまったく来ず、店が開店休業状態のレストランのオーナー
(※このオーナーは18課の[1.INTRO]の②で再登場：CD3-12)

6. LISTENING

①で相談内容を読んだ後、「自分ならどうするか」を少し考えさせてから、②のCDを聞かせるようにする。難しい語彙が多いが、選択肢に目を通してから聞かせるようにすれば、○×で解答する程度のことは問題ないと思われる。その後、③でスクリプトをじっくり読ませ、内容を確認する。

7. FOCUS

①では3の「パソコンを新しくする」に注意（そのパソコン自体を新しくするわけではなく、「買い替える」という意味）。②ではこれまでに出来た「変化」を表す自動詞と他動詞を中心に提示している。

注. この教科書では動詞の自他の区別を「文法」としては取り上げていないので、「減る vs. 減らす」や「暖まる vs. 暖める」などの自他のペア、あるいは「増える vs. 減る」や「暖める vs. 冷やす」などの対義語で提示し、「語彙」の整理をする。

8. SPEAKING

学生不足に悩む学長の相談に答える練習。[6.LISTENING]の③を参考に以下のような構成でアドバイスをまとめてみる。

- ①原因の指摘
・「この大学は_____と思います。だから、_____なのでしょう。」
- ②だれもが思いつく解決策とその問題点
・「_____ばいいと思いますが、_____でしょう。」
- ③学生独自のアイデア
・「だから、_____ばいいと思います。そうすれば、_____。」
- ④新たな問題点の指摘と「それでもその方がいい」と考える理由
・「もちろん、_____が、_____。」

9. COMPOSITION

[8.LISTENING]と同じ構成で自分が住んでいる町の問題点を指摘し、解決策を提案する。

授業で使えるリソース

☞ ブータン国王の来日で話題になった「国民総幸福量（GNH）」などは本田さんの言う「小さな町なりの幸せ」とは何かを考えるよい材料になるのではないと思われる。また、イギリスの社会心理学者が世界178カ国（紛争地域を除く）を対象に作成した「世界幸福度ランキング」というものがあり、これによると世界でもっとも幸福度が高いのはデンマークで、2位はスイス。ブータンは8位となっている（ちなみに日本は90位）。

- ☞ ホームページの「授業で使える映画・ドラマ」の欄でも紹介しているが、「フラガール」や「書道ガールズ」などの映画がお勧め。「フラガール」は、石炭から石油へとエネルギー需要の転換が進む中、閉山の危機に瀕した町を救うべく、観光産業の目玉として設立された「常磐ハワイアンセンター」の誕生までの実話を映画化したもの。ただ、映画の中ではどのような経緯でこの計画が持ち上がったのかなどの背景にはあまり触れられていないので、当時の福島県いわき市の実情などを少し勉強してから見た方がより楽しめる。一方、「書道ガールズ」は、日本一の紙の町で知られる愛媛県四国中央市の高校生たちが、不況で活気を失っていき町をなんとか盛り上げようと書道パフォーマンスを始めたところ、それがテレビで取り上げられ、ついには「書道パフォーマンス甲子園」を実現させるという実話を映画化したもの。本田さんの町の現状（人口減、財政危機）を考えると、参考にすべきは「書道ガールズ」か？